

営農情報

第2号

平成24年1月17日

(麦)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

現在、麦の生育は、早いものでは葉の枚数が3～4枚になっています。12月上旬以降ほとんど降雨がなかったため、遅播きのほ場では出芽が遅れています。また、適期播種のほ場では、ヤエムグラ等の雑草の発生が早い傾向にあるので、注意して下さい。

1 施肥基準

シロガネコムギの第1回目追肥は、葉の枚数が5～6枚の時（1月下旬頃）に行います。第2回目追肥は節間伸長期前（2月下旬）までに行います。

(kg/10a)

品種名	肥料名	1月下旬	2月下旬	(穂揃期)
シロガネコムギ	NK7号 または BB606	30	15	—
	グッドIB200	35	—	—

ミナミノカオリの追肥は、タンパク質含有率を高めるため、必ず1月下旬～2月上旬（できれば2月上旬）に行いましょう。

(kg/10a)

品種名	肥料名	1月下旬～2月上旬	穂揃期 (4月20日頃)
ミナミノカオリ	グッドIB506	40	10 (硫安)

※ タンパク質含有率を高めるため、穂揃期追肥を行いましょ。

※ 穂揃期追肥は、赤かび病防除と同時に、尿素による葉面散布も可能です。

その場合、10aあたり尿素5kgを、水100リットルに溶かして散布します。

(kg/10a)

品種名	肥料名	1月下旬	2月下旬	穂揃期
はるしずく	NK7号 または BB606	20	—	—

2 除草剤(ハーモニー剤)散布

ハーモニー水和剤の場合、液量が少ないと効果が不十分なので、10aあたり水100リットル使用します。また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後1週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

1月12日の調査では、11月20日播種のは場で、カズノコグサが1.5～2.0葉期に達していました。カズノコグサ対策の場合は、早めにハーモニー水和剤10gを散布しましょう。

除草剤名	使用時期	10a使用量	注意点
ハーモニー細粒剤F	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～発生始期)	4～5kg	細粒剤、水和剤のどちらか1回しか使用できません。
ハーモニー75DF水和剤	麦1葉期～節間伸長前 (カズノコグサ3葉期まで) (スズメテッポウ5葉期まで)	7.5～10g	

※農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意してください。

野菜等、他作物にかかった場合、薬害だけでなく、農薬残留基準値オーバーによる出荷停止など、大きな経済的被害を受ける場合があります。

◎ヤエムグラ(広葉類)の多発しているほ場では、エコパートフロアブルを1月中旬から2月中旬までに10aあたり50～100ml散布してください。

3 麦踏み、土入れ

- (1) 麦踏みは、倒伏及び徒長防止に効果があり、麦の葉が3枚以上になってから行います。1月上旬～2月下旬(節間伸長開始前)に、10日間隔を目安に3～4回以上実施します。土が乾燥し、茎葉に霜や露がない時に実施します。湿った状態で行なうと、土が締まって排水性が悪くなり、麦の生育に悪影響を与えるので注意しましょう。
- (2) 土入れは、麦の葉の枚数が3～4枚になったら始めます。実施時期は、1月上中旬、2月上旬、3月上旬頃の3回くらいが適当です。麦踏み前に実施します。1回目は浅く、2、3回目は麦の生育に伴って土入れの量を増します。雑草防除や排水向上、無効分げつの抑制、倒伏防止などに効果があります。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!